



グループディスカッション in 寿都町

Day-3

by たく

⑩ スタディツアーの最終日、「同世代(大学生・大学院生)に地層処分を自分事として捉えてもらうためにはどうすればよいか」をテーマにグループディスカッションを行いました。まず私たちは、「地層処分を自分事として捉えてもらう」以前に、どうすれば「地層処分」についてより多くの人に知ってもらえるかについて話し合いました。一般の人々、特に若年層は「地層処分」にまだ馴染みが薄いと感じたからです。実際、今回のスタディツアーを通じて初めて「地層処分」を知った参加者も多く、私もその一人です。そのため、まずは「地層処分」に関する情報を幅広く発信し、理解を求める必要があるという結論に至りました。次に、「地層処分を自分事として捉えてもらうにはどうすればよいか」について議論しました。その中で特に印象に残ったのは、私たちの生活に直結する利益やリスクを示すことで当事者意識を育むという意見です。例えば、電力会社によって電気料金は異なります。原子力発電所の稼働も料金差の一因であるため、エネルギー政策や廃棄物処分が電気料金にどう影響するかを理解することで、地層処分をより身近に感じるきっかけになるという意見がありました。特に、原子力発電所が稼働することで電力コストが抑えられる一方、廃棄物の安全な処分に



実際に訪れ、目で見て、現地の声を直接聞いた学び。地域の景観や歴史、特産品に触れて味わう、貴重な2泊3日の体験旅。

かけがえのない経験をした学生の皆さんが、各スポットでの思い出をまとめた記録です。

クーク博士の地で学ぶ 原子力発電の仕組み

by かつし

① スタディツアーの一番初めのプログラムとして、北海道大学にて原子力に関する事前学習をしました！北海道大学の小崎教授より、日本のエネルギー事情や放射線のできる仕組み、原子力発電の仕組みなどを教えていただきました。日本のエネルギー事情として、電気代の話題が取り上げられました。現在、電気代が高騰していますが、原子力発電所の稼働の有無が大きく関係しており、東日本大震災以降、稼働している原子力発電所が大幅に減少し、東日本ではほとんどの原子力発電所が稼働していません。しかし、西日本では原子力発電所が多く稼働している為、電気代が安い傾向にあります。そのため、将来の世代のためにも、今の若者が原子力発電に対して、正しい知識を身に付けていく必要があると思いました。



Day-1

神恵内村の 宿泊はここ!

by ゆな

② 神恵内村では民宿きのえ荘に宿泊しました。高台から海が一望できる綺麗な景色と、地元でとれた食材を使った美味しい食事が最高!女将の池本さんが気さくに話しかけて下さり、とても温かい場所でした。地層処分に対する現地の方の想いや考えもお聞きすることができました。このツアーを通して神恵内村の魅力を知ることができてよかったです!



丁寧な説明も 文献調査と神恵内村

by はしじゅん

③ 北海道古宇都神恵内村村長の高橋昌幸氏に、地層処分地選定の第一段階「文献調査」に関してお話を伺いました。50年近く泊原子力発電所と関わってきた神恵内村では、2020年に地元の商工会からの請願もあり、国から文献調査の申し入れがなされました。高橋村長は文献調査を受け入れましたが、受け入れに踏み出した時、「大きな反対運動が起きるのではないか?」という不安が常にあったといいます。実際に強い反対意見を持つ住民と衝突することもあったようですが、高橋村長は「科学的根拠に基づく事実の丁寧な説明」を地道にしていこうと心がけていたそうです。「言いたいことを言うてもらうだけではダメだと思う。何事も正しいことは声を大にして伝えたい。きちんと科学的根拠を知った上で、自身の価値観に沿った意見を述べてほしい。」と高橋村長は語っていました。

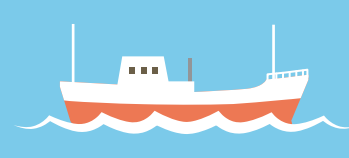


Day-2

神恵内村オススメ 観光スポット

by たかいわ

④ 神恵内村のオススメ観光スポットは、あんなに展望公園です。あんなに展望公園は、村の中心部から少し離れた積丹半島の西側を走る国道229号沿いにあり、少し山を登った場所にあります。オススメの理由は、展望公園からきれいな積丹ブルーの海が見えることと船でしか行くことのできない秘境の豊地の西の河原、岩の真ん中に穴が開いている窓岩を見ることができるからです。さらに展望台には双眼鏡があり、目視では見ることのできない距離の景色を双眼鏡で見るとオススメな理由です。実際に積丹ブルーの海を見ることができ、北海道の自然の豊かさを体感できることは東京などの都会の人間からするとなかなかできない貴重な体験だと思いました。



弁慶岬に 残る伝説

by マッキー

⑦ 「文治5年(1189年)奥州衣川で難を逃れた義経主従は南部津軽を経て渡道し、この地でアイヌの人達と共に生活し、義経再挙の兵を募って蝦夷地に向かう常陸坊海尊を待った」という伝説があり、弁慶岬の由来には弁慶、そしてアイヌの人々との関係があったようです!

岬から見る広大な海と断崖絶壁、そして開けた平な大地で風車が回る寿都の町並は、まさに絵になるような風景でした。



桜色のパワースポット・ 寿都神社

by まりこ

⑧ 全国でも珍しい桜色の鳥居が華やかな寿都神社は、天女の市杵島比賣命(弁財天)を祀る神社です。季節の花と和傘で彩られた花手水や、夏の間飾られる風鈴棚も桜色で彩られており、フォトスポットとしても人気です。9月に訪れ、桜色の風鈴棚をくぐる体験ができました。この風鈴棚は厄除けのご利益があるそうで、私もパワーを頂けた気分になりました!「福を釣り鯛みくじ」「社嬢しらすみくじ」など海鮮を模したおみくじもユニークでかわいらしかったです。桜色にあふれて景色を眺めているだけでも幸せになれる寿都神社、次はぜひ桜が満開の季節に訪れてみたいです。



寿都町屈指の グルメスポット

by あつきー

⑨ 海沿いに面している「そば処鯨御殿昌の屋寿都店」はかつてニシン漁で栄えていたこの地に明治30年代前半に建てられた土蔵をリノベーションして店舗として使用されています。店内は元々土蔵であるため雰囲気良く、またリノベーションされているので綺麗でオシャレな空間でした。そばは手打ちであるためコシがありとても美味しくセットの天ぷらも揚げたてで海老はプリプリ、野菜天もサクサクで絶品でした。



心も体も リフレッシュ! ゆべつゆ

by しらくん

⑩ 2日目の夜は「ゆべつゆ」に行きました。1880年から多くの方々に親しまれてきた、歴史のある温泉です。美肌効果のある「美肌の湯」と、血行を良くする効果のある「癒しの湯」という2つの温泉の他、寿都産「風のバジル」を使用した「バジル湯」もありました。風呂上りには、町長おすすめバジル味のソフトクリームをいただきました!他ではみられない味わいで、僕はとても好きになりました。夜はゆべつゆのコテージに泊まりました。二階建てとても広かったです!翌日が最後の日というもあって、遅くまでたくさんお話をして過ごしました。



片岡町長講演

by ありさ

⑥ 寿都町役場で片岡町長からお話を聞かせていただきました。寿都町では風力発電やふるさと納税、特産のバジルを活かすなどの様々な政策・ビジネスに取り組みられ、ふるさと納税額も多くなっているそうです。そのような中、風力発電以外のエネルギーによるまちづくりはできないかと様々な勉強をされ、なかなか前に進まない最終処分事業に「一石を投じる」という想いで、文献調査に応募されました。

